



若芽ふく頃

呼吸のよなけむりよわりのぼる見ゆめめめめ  
の窓ころやすけし

みちのくの友の家にかきかぜの音東都のわか  
れさみしかりけり

舞臺の泣むと強よしみみどあつさなまけ  
になみだわく夕

春くれは愁ひうらみの迷ぐるよなあくがれに  
まつ二八の彌生

病める伯父

はげし性伯父なりしかどいまはやつれて誰  
が言葉にもすなはにいます

うせしげに見降ませる睡なり影をもとむるう  
つろなるごき

あかごのそれと似たる腕のか弱さ腕相撲な  
どほこりましし伯父も

あらくしくかたてつりしは伯父なりよ  
たたび叱られみたくはなれり

心(彼女の遺書)

冬の街を吹き荒るるこの風の如き心を持って  
生きんと思へり

軒端打つこまめ音聞き入りついたらる心  
のその音に親しむ

あやまちで詫びる心の失へる今日こころの  
かたくな心よ

獨り居るこの六畳しづかなる心たのむ  
びしくかたし

夜はなれば寒さよげしくなる如く寂しき胸を  
て耐へ難きこころ

手をみつゝ友の心を思ひたり痛めるこころの  
深き憂よ

頭さわげ胸に微にかくもさわか  
衰へしこころ

頭痛の痛きにはひよあの頃の幼き心の遠き  
かなしみ

さあ荒きみかんの皮のにおきいろみつる心  
よ仕しき静け

林刊大第一第三日曜  
定 價 一 部 二 銭 郵 報 別  
一 月 六 十 銭 十 五 銭  
廣 告 料 行 六 十 銭 指 定 廿 五 銭  
月 刊 報 告 料 一 部 二 銭 郵 報 別  
行 所 新 報 社 新 報 社  
新 報 社 新 報 社 新 報 社

自由の利かざる日▲六白  
悦びの中、悲しみの海に居  
る日十分は憂ひ▲七赤  
氣、縮の質、働り、思ひ  
よりよき日と成る▲八白  
午前は吉午後急轉直下す  
ることあるべし▲九紫 秩  
序大切に進むときは吉運次  
第に向ふべし

白馬の雪 比無醇芳  
醸吟一徳本松  
二五七話電平



茶山にはあひひ得なかつたで  
せう、さうしてまたつひつり  
使命であるところの茶山は  
正月五日迄に伴ひ歸るとい  
ふようなことは出来なかつ  
たかも知れません。  
それを思ふと、彦九郎は  
今更に月をかくして、路を  
暗くした雲に感謝し、  
貴殿も、ゆづり、身共  
が宜しいづれ、身共  
も道にいたす故

「恐入りました」  
彦九郎は、呻り、辭儀  
いたしました。  
「いや、頼もしく存ずる  
めて。」  
茶山は、ほれ、と見  
て。  
「失禮ながら、たいくつ  
成られる。」  
「當年十七歳に相成ります  
か。」  
「は、お、それは若。」  
茶山は、心から感じ入つ  
たように云ひました。  
「おかし、貴殿、相を拜  
い、さうと大成なさる、御  
入、御見受け申す何より御  
自愛が尊、ぢや。」  
「御言葉、添箱に存じます  
と申さへ。」  
「では、」  
彦九郎は、もう一度呻り  
早朝に身、立立つた二人

茶山にはあひひ得なかつたで  
せう、さうしてまたつひつり  
使命であるところの茶山は  
正月五日迄に伴ひ歸るとい  
ふようなことは出来なかつ  
たかも知れません。  
それを思ふと、彦九郎は  
今更に月をかくして、路を  
暗くした雲に感謝し、  
貴殿も、ゆづり、身共  
が宜しいづれ、身共  
も道にいたす故

カバンと帽子  
入学進級には  
ゼビツルヤへ  
新しい丈夫な品が  
得られます  
平町四丁目  
ツルヤ  
電一四〇

高久病院  
立ちました。  
東へ、山陽の本道へ  
立ちました。

開業廣告  
今般左記ノ通り開業致候間此段及謹  
告候  
昭和五年三月一日  
敬具  
川井内科診療所  
住宅 時間午前七時より午後十時迄  
但し急患はこの限りにあらず  
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)  
川井 重子  
川井 安子  
電話七二二番

蜂ブドウ酒  
品質本位  
佛國の葡萄  
石城小名濱町  
清水屋  
銘酒 小野晋平  
各炭酸御用達 電話六番

木村外科診療所  
内臓外科専門  
花柳病科  
平町六丁目(橋際)  
木村外科診療所  
電話三〇九

渡邊内科醫院  
内臓外科 醫學博士藤本順  
整形外科 長木村寅次郎  
婦人科 平町新川町  
電話一五番  
木村病院  
電話一六一番

佐藤材木店  
内地材  
内 地 材  
材木各種、羽柄材各種  
建築用材、諸材、諸材、諸材  
磯山用坑木、其他諸材、諸材、諸材  
外 材 部  
米松、米杉、大角製材、諸材、諸材、諸材  
請 負、其、他

磐中も磐女も 入學者激減

入學考試に 學校當局の方針

平町警中、磐女其の他私立立各學校では目下新入生のこの點を協議したから除程...

荒らす賊 船具専門に

平警に捕はる

朽木郡那須郡那須町生れ當平町平町大字湯本十番地古...

植田町植田水力電氣株式會社第一、第二發電所を有...

口問口答よりは 口問筆答に重點

中等校の入試を前に 平町某校長の談

平町所在中等學校の本年入試考査を行ふものらしい、即ち...

景氣變動論 (禁轉載)

經濟學士 金成 増彦

一、總言 一、全國一齊、行はれたる遠征戦—東北、戦士は...

かるた大會

時報社の主催

同業警備隊社主催下、同業警備隊社主催下、同業警備隊社...

植電の剩餘電力を 日立電力に供給

植田水電新生面

植田町植田水力電氣株式會社第一、第二發電所を有...

白粉佛 日本に唯壹体

諸病にあらたか 東京池袋西原町に在り...

近頃平て開く 實子殺しの公判

植田の親子事件 近頃公判開廷の事...

竹細工講習會 石城郡植田町に於て...

農業保險を實施

石城郡下の日割

農林省では數年前から水害、旱害から起因する...

赤津氏任命

整つた新陳容 平町第三小學校校長の椅子...

記者募集

右に召集、中學三年修業程度の學力をも有し...

青年練武場

石城郡内郷村の有志は農村の爲め...

強情な少年

依然泥を吐す 平町前に於て九日後一時...

車庫から盗む

青年を取調中 神奈川縣横濱市生れ當時住...

濱三郡木炭

輸出高が激減 濱三郡木炭同業組合調査に...

死亡

三丁目松太郎氏孫村上君 三丁目松太郎氏孫村上君...

短期特別大興行

喜劇界親玉揃へ 曾我 廼家 五童...

曾我 廼家 五童

曾我の家満十郎 外五千名大一座...

高橋時計店

時計 金時堂 貴金屬 眼鏡類...

平南町 平産婆看護婦學校

校長 清野 キヨ 電話(三〇七番)

新築落成 耳鼻咽喉科

大和田醫院 大和田 郡司

安齋外科醫院 平町町赤心堂病院跡...

安齋外科醫院 電話 四三六番